



昨年までは有志の市民による実行委員会が運営していましたが、委員の皆さまの努力の結果、多くの人に感動を与えたことを理解し、昨年までは後援という立場だった商工会や観光協会も今年は共催として積極的に参画することになりました。



民の花火大会にするべく、菅野実行委員長は話していました。お祭りにつきものの夜店も、街商組合の出店と商工会青年部の「屋台」が五十〜六十店設けられます。そのうち本部隣に設けられる商工会青年部の「屋台」で千円以上買い物をする、金額に応じた抽選券がもらえます。この抽選券は後日抽選され、五十人の方に矢板市商工会の商品券(プレミアム商品券)が当たるそうです。プレミアム商品券は市内加盟店で買えるので、市内の活性化が期待できそうです。抽選券をもらった人は花火で楽しんだ後も「商券券が当たるかも」というささやかな期待を与えてくれる今年の花火大会です。(プレミアム商品券は十月十六日から商工会で販売予定です)



■あんどん祭り  
市都市整備課  
Tel 43・6213

■やいた花火大会  
実行委員会  
Tel 43・1755

**あなたもボランティアしてみませんか**  
あんどん祭りにもやいた花火大会にも多くのボランティアの方が協力していますが、まだまだ人手が必要です。協力いただける方は実行委員会までご連絡ください。問い合わせ先は次のとおりです。

なお無料の駐車場は、川崎小・東小・矢板小や市役所・図書館周辺の駐車場になります。このほかシャープ(株)西側の駐車場から矢板駅東口の間をシャトルバスが運行します。※指定の駐車場を必ずご利用ください。近隣の駐車場に無断で駐車しないでください。

**矢板のギャラリー**

旧上伊佐野小学校から山縣有朋記念館へ向かう途中、50mほどの距離をおいて、道の左側に二軒のギャラリーがあります。「杜のギャラリー」と「音楽の森コンサートサロン&ギャラリー」それぞれのオーナーが、それぞれの思いで芸術とかかわっています。

小さな看板を目印に、コナラ、クヌギなどの雑木で囲まれた庭に入ると、別世界に迷い込んだようです。オーナーの大島章市さんは武蔵野音楽大学の声楽科を卒業後、奥さまと一緒に実家の近くの上町でピアノ教室を開きました。

若いころからの夢だったホールを作ろうと、45歳の時に土地を購入。奥さまと二人だけの力で現在の建物を二年二月かけて作りました。「それまでで肩だった私の体型は、この作業のおかげでいかり肩に変わりました」と、笑って話してくれましたが、大変な作業だった事が想像できます。



音楽だけでなく、絵画の展示なども行うようになり、このホールを作ったことで、それまでなら決して会えないような人との、意外性のある出会いを楽しんでいるとか。地域の人も音楽会に来



「杜のギャラリー」は、彫刻、陶芸、絵画、モダンアートなどの展示を、そして時には音楽家と造形作家とのコンサートを開催しています。



右の写真は、小林裕児氏の作品「さくら舟」

帝国ホテルを設計したライト氏のデザインが大好きとおっしゃるオーナーの郡山幸子さん。このギャラリーもそんな雰囲気が見られる。庭にさりげなく置かれた彫刻が、周りの木々に囲まれて、昔からそこにあるような自然な調和を見せています。

「デザインの仕事に30年携わりましたが、芸術作品を皆さんと一緒に身近で鑑賞し、考え、提案する場を自然の中に作ってもいいかな」と、十二年ほど前にオープンしたこのギャラリーでは、彫刻、陶芸、絵画、モダンアートなどの展示を、そして時には音楽家と造形作家とのコンサートを開催しています。

木俊治氏・小林裕児氏の、子どもたちが見て触れられるような作品を常設していく予定です。

具体的には、本県出身で国内外でたいへん活躍されている三

